



学校だより9月号

葦

令和7年9月2日
市川市立福栄中学校

学校教育目標 自主・自立～ 活力と魅力あふれる学校を目指して～

2学期スタート

44日間の夏休みが終わり、1日から2学期が始まりました。朝の会、清掃の後、始業式をオンラインで行いました。式の前には、夏の総体やコンクールの表彰が行われました。どの部活動も本当によく頑張りました。式の後には、学級活動を行い、夏の思い出などを語り合う時間がありました。

平和教育青少年派遣事業 ～昭和100年 戦後80年～

今年は過去を振り返る機会の多い年です。昭和が継続していたら100年目ですし、アジア太平洋戦争の終戦の年である昭和20年から80年目となります。テレビ等の報道番組や特番で戦争のことが流され、戦争の悲惨さについて認識し、あらためて平和の大切さを実感したと思います。市川市では、8月5日から7日の3日間、平和教育青少年派遣事業として各中学校から1名を広島に派遣し、平和の尊さについて学習しました。福栄中からも代表1名が参加しており、今後、集会等で参加報告をする予定です。



国際交流 ～中学生海外派遣事業～



毎年夏休み期間中の行われる本事業が、7月25日から8月5日の12日間、ドイツのローゼンハイム市を中心に実施されました。福栄中からは2名が参加し、数か月前から事前学習を行い、現地の学校やホームステイ先のご家族と交流し、多くの経験をしてきました。こちらでも代表者による生徒の皆さんへの報告を予定しています。どちらも楽しみにしています。

「福栄魂」 ～部活動の活躍(総体及びコンクールの結果)～

《おもな成績》 ※市川浦安支部大会(県大会等)

- ソフトボール部 優勝(県大会出場)
- 野球部 第3位
- サッカー部 第3位
- 陸上部 男女総合5位 男子総合6位 女子総合7位
男子3千m2位(県出場) 男子砲丸投げ1位(県出場) 2年女子百m2位(県出場)
2年男子百m3位 3年男子百m5位 男子3千m2位(県出場)7位
男子千五百m4位8位 男子四×百mR8位 男子ｼﾞｬｯﾊﾟﾘｯｸｽﾀｰ7位
1年女子百m4位 2年女子百m2位(県出場) 女子二百m5位 女子走幅跳4位
女子千五百m6位 女子八百m7位 女子四×百mR4位 女子ｼﾞｬｯﾊﾟﾘｯｸｽﾀｰ7位
- 吹奏楽部 千葉県吹奏楽コンクールA部門金賞(本選大会出場) Jr部門優良賞
- バドミントン部 学年別男子ダブルス 2年;第3位(県大会出場)第5位
学年別男子シングルス 3年;第3位
学年別女子ダブルス 2年;第3位(県大会出場)
- 剣道部 女子団体第3位
- 合唱部 奨励賞
- 水泳 県男子百m平泳ぎ決勝 6位入賞

前期学校評価アンケート

6月末に学校評価アンケートを実施しました。今回は半分以上の保護者の方から回答をいただきました。また、生徒自身からの回答結果を踏まえ、肯定的な評価（4＋3の合計）を下記にまとめ、保護者、生徒の結果と比較しました。これからの学校経営に活かしてまいります。ご協力ありがとうございました。12月の評価もよろしくお願いいたします。（生徒アンケートは、保護者アンケートと同意味の質問に対する回答結果を記載）

	評価項目	生徒	保護者	考 察
1	友だちの良いところを見つけることができる。	96%	91%	昨年と同様に9割を超える生徒が肯定的で、友人関係が良好であることが窺える。
2	目標を持って学習したり生活したりしている。	79%	76%	定期試験の時だけでなく、将来を見据えた目標を考えて、生活させていきたい。
3	調べたいことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味を持って学習に取り組んでいる。	70%	62%	興味関心を持つことが学びのきっかけとなる。調べる習慣を定着させたい。
4	日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしたりしている。	45%	33%	朝読書を自然に受け入れられる意識を深めていきたい。多くの教科で図書館を活用することが必要。
5	毎日の学習でタブレットを活用している（4；ほぼ毎日、3；週2～3日、2；週1日、1；していない）	44%	31%	授業中でのタブレット活用は増えているが、家庭学習やドリルパークなどの活用を進めていく。
6	日頃から運動やスポーツに親しんでいる。	70%	67%	前期はさざなみ祭や部活動があつての数値。運動することが生涯にわたって有意義なことであることを意識させたい。
7	給食では、栄養やマナー等を意識して食べている。	80%	82%	ごはん（米）の残菜率が高い。継続的に食育を進めていく。
8	学校の活動で、地域の方たちと共に学ぶ機会がある。	30%	73%	小学校との交流やボランティアが多いので引き続き推奨するとともに、学校運営協議会と連携していく。
9	困ったことがあった時に相談できる先生がいる。	70%	64%	学期ごとに教育相談期間があるが、普段から生徒との信頼関係を築ける、相談しやすい支援体制を整えていく。
10	学校の活動では、体験（見る、聞く、触れる）や交流が取り入れられている。	74%	64%	校外活動での体験や交流はあるが、授業での講義式からより多くの体験型授業を増やしていく。
独自	学校の授業は分かりやすい。	88%	69%	ICTを含む適切な教材を使用し、話し合い活動などを進めていく。
独自	主体的に(自分の考えを持ったり、役割を自覚したり)授業や行事に参加している。	88%	81%	生徒会や学年、学級の活動が生徒個々の有用感にさらにつながるようにする。

【生徒のみ】 先生たちは話を聞いてくれますか。 88%
 先生たちはしっかり指導してくれますか。 91%
 進んで挨拶や掃除に取り組んでいますか。 93%
 自主学習（家庭学習・まなびくらぶ等）に取り組んでいますか。 59%
 学校楽しいですか。 83%

記述欄にいただいた様々なご意見は、教職員で共有し、改善すべき点について検討し、学校教育の向上に努めてまいります。